

臼杵市 施策評価シート

(令和5年度)

評価 担当課	課名 学校教育課
-----------	-------------

コード	V-12-27	施策名	学校と地域、家庭の連携の推進	
まちづくりの 目標	磨き輝き続ける市民がつながり、臼杵っこが育つまち(学び)		施策の方針	ふるさとを担うたくましい人材を育てる
5年後の めざす姿	「子どもは地域の宝」であることを地域の大人が再認識し、温かく、時には厳しく声かけや見守りができるように、学校地域家庭の役割分担を明確にし、連携を取りながら子どもを育てる地域力の向上を図ります。地域に愛着を持つ「臼杵大好き臼杵っこ」を育てます。			
施策の課題	地域の人材を活用した放課後子ども教室や中3生教室を継続して開催するため人材確保に努めます。			

< 施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次臼杵市総合計画 後期基本計画 >

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移						
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	うすきふれあい学校に参加した地域の方、保護者、外部指導者の延べ人数	うすきふれあい学校 実施報告書(各校から)	目標	人	9,000	9,000	9,500	9,500	10,000人以上
			実績		13,615	7,440	7,310	8,640	11,647
			達成率	%	82.7%	81.2%	90.9%	122.6%	
	放課後子ども教室及び中3生教室の参加率	「協育」ネットワーク連携促進事業の実績報告	目標	%	45.0	48.0	50.0	50.0	54.0
			実績		44.0	41.0	37.0	34.0	25及び47
			達成率	%	91.1%	77.1%	68.0%	#VALUE!	
	まなびりすと登録者数	各年度における「まなびりすと」の登録者数	目標	人	132	105	115	125	135
			実績		130	134	134	136	136
			達成率	%	101.5%	127.6%	118.3%	108.8%	
	コミュニティ・スクールとなった学校数	各学校からの申請・報告書	目標	校	18	18	18	18	18
			実績		18	18	18	18	
			達成率	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
指標の 進捗状況	概ね順調	指標の分析	地域に開かれた学校づくりや地域の特色ある学校運営を行うコミュニティスクールの内容を充実させる必要があります。						
		指標達成に向け今後の流れ	小中学生の郷土愛を育て、地域に愛着と誇りを持たせるためにも、臼杵ふれあい学校を活用して、学校と家庭・地域が協働で「地域の子どもの地域で育てる」機運を高め、地域人材の育成や活用の機会を充実させていく必要があります。						

< 市民意識調査結果 R6実施結果 >

領域名	必要度	満足度	浸透度
見直し領域	2.53	2.05	79.14%
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域			
過去の調査結果(領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	検討領域	見直し領域	検討領域

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項
			R4年度実績	R5年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度	
1 総合学習補助金交付事業	総合的な学習や探求的な学習を通して、児童生徒が自ら学び、考えることで問題解決能力の育成や地域と積極的に関わることで特色ある教育活動を行うこと	学校教育課	2,079	2,051	無	順調	向上	中	
2 学校運営協議会制度推進事業	全小中学校に学校運営協議会(コミュニティスクール)を設置し、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む。	学校教育課	704	780	無	順調	向上	中	
3 小中一体教育推進事業	中学校を1つのブロックとして、小中学校9年間の教育目標・方針を明確にし教育活動を行います。	学校教育課	33	369	無	順調	向上	大	
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計			2,816	3,200	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

<次年度以降の課題>

新型コロナウイルス感染症も第5類となり、イベントや交流への制限もほぼ外序された球、地域振興協議会との連携など、より地域に開かれた学校づくりに、現状通り取り組みます。

施策の評価 (今後の施策の方向性)

- 評価の選択肢 ○ 向上 .. 現状の通り維持向上する ○ 強化.. 現状より強化を図る
 ○ 見直し .. 現状を見直し適正化を図る ○ 検討.. 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価> ...評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
向上	市内の小中学校のすべてがコミュニティスクールとなり、学校目標を学校・家庭・地域が共有認識し、協働で学校運営を行うこととなります。年6回開催予定の白桦ふれあい学校を活用し地域に開かれた学校づくりを一層推進する必要があります。また、地域振興協議会との連携をさらに深めつつ、協育コーディネーターが学校と家庭・地域とつなぐ協育ネットワークをさらに推進し、地域人材を活用しながら地域の特色を生かした学校づくりが必要です。